

第十四回兵法講座 ― 楠流兵法と武士道精神

平成二十六年二月十五日（於 靖国会館）

太平記秘伝理尽鈔卷第十四

新田・足利確執奏状の事（略）

節度使下向の事（略）

矢矧・鷺坂・手超河原鬪ひの事（略）

箱根・竹下合戦の事（略）

官軍箱根を引き退く事（略）

諸国の朝敵蜂起の事（略）

將軍御進発大渡・山崎等合戦の事

京中の官軍少なし、長年は部下に酷薄

義貞、楠に対面、軍評定の事。

官軍手分の事。

大江山軍の事。（略）

大渡軍の事、書如。

山崎の事。紀氏の者共小勢にて寄しを、宇都宮の泰藤懸け出て戦ひし事。

義貞、大渡を捨てて引れけるに大友千世丸・宇都宮降人に成る事。

新田義顕軍の事。

主上都落ちの事付勅使河原自害の事

主上山門へ落させ給んとて明星・日の札・二間の御本尊等まで捨て置かせ給ひし事。

勅使河原自害の事。

長年帰洛の事付内裏炎上の事

長年参内の事、書の如し。（略）

楠木、宇治より東坂本に参る事。

正成、忍びの情報により作戦立案、義貞に指示

義貞、これに対応

正成、山崎の劣勢を見抜く

山崎にて官軍敗北

正成、宇治にて軍勢を配置

正成、木幡にて甲乙人を追い払う

山科川における遭遇戦

正成、醍醐・山科にて遭遇の桃井・仁木を説得して、戦わず

正成、合戦以前に近江で米を徴収

正成、収集した米・大豆を山門に上す

將軍入洛の事付親光討ち死の事（略）

坂本御皇居並御願書の事

主上大宮へ願書を籠め給ひし事

米・大豆の分配、一部は残す